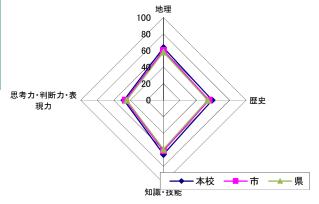
宇書宇都宮市立豊郷中学校 第2学年【社会】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

人・イン・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー・ストー					
分類	区分	本年度			
カ規		本校	市	県	
領標	地理	63.5	60.1	58.1	
域 等	歴史	59.0	55.1	53.5	
観	知識·技能	65.4	61.1	59.3	
点	思考力・判断力・表現力	47.6	46.0	44.3	



★指導の工夫と改善

★指導の工夫と改善		○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの		
分類•区分	本年度の状況	今後の指導の重点		
	○平均正答率は、県の平均より5.4ポイント、市の平均より3.4ポイント上回った。知識技能の分野では、市平均より概ね良好な結果を得ることができた。 ●一方で複数の資料からアフリカのモノカルチャー経済の課題について考察、表現するような問題にはまだ課題が見られる。市の平均より0.5ポイント上回ったものの正答率は19.3ポイントと低調であった。	・基本的な内容の定着はおおむねみられるが、応用問題の対応に課題が見られる。資料を読み取り、自分の考えを文章として表現する学習活動を増やすことで、思考力、表現力を培っていく。 ・市平均と比べて世界の諸地域で平均正答率が下回っているものが見られるため、各州ごとの内容を日本の諸地域と関連させ、復習を織り交ぜながら、定着を図っていく。		
地理				
歴史	○平均正答率は、県の平均より5.5ポイント、市の平均より3.9ポイント上回った。古代文明の特色についてはよく身についている。 ●奈良時代に戸籍が偽られた理由について資料から考察する問題では正答率が、市の平均より14.7ポイント下回った。奈良時代の税と農民の生活について関連づけに課題が見られた。	・今後も繰り返し授業の中で復習を取り入れ、各時代ごとの変化や特徴を捉える力を養っていく。 ・文献資料や、地図資料の活用を広げ、歴史的事象のつながりや多角的な視野で物事をとらえる見方を培っていく。		